

2

FEB 2022  
VOL.148

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

# ishin-déns hin

Let's コミュニケート!

もはやおなじみ

きおく画伯

何かと話題の

社長と行こう! こっそり食堂

三河といえばコレじゃんね

水野印刷工芸  
社内報

ミデコの日々の取り組みを  
知っていただくため、  
社外にもお配りして  
います。

みかわんこ▶



特集

## 伊能忠敬が歩いた蒲郡

## 特集

# 伊能忠敬が歩いた蒲郡

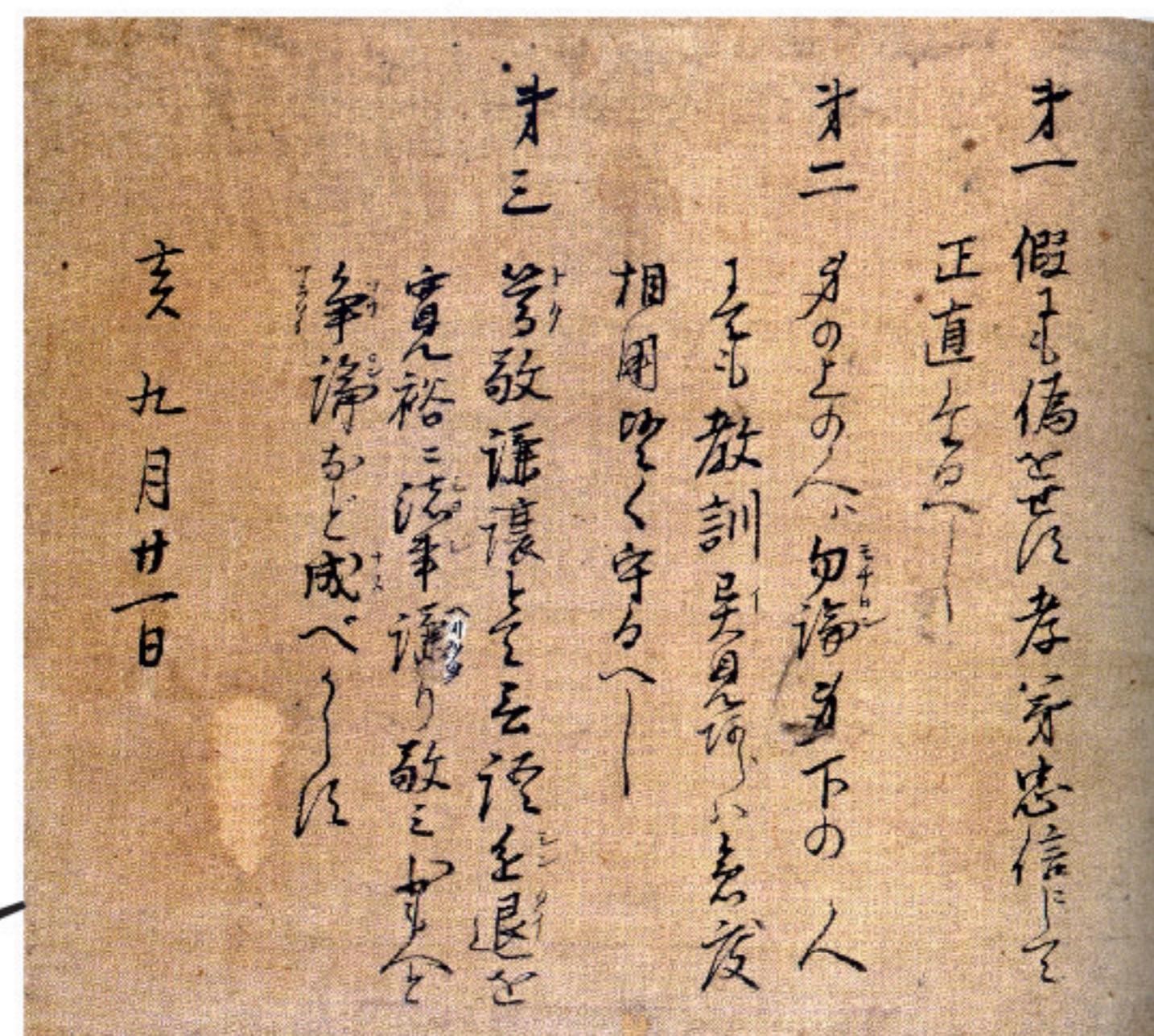
蒲郡の西浦町に伊能忠敬に由来する石碑があると言う話を何となくどこかで聞いた私。どこかで聞いただけでなく、伊能忠敬と蒲郡についてちょっと調べてみることにしました。



## 伊能忠敬

伊能忠敬は1745年、千葉県の九十九里町で生まれた。幼い頃の名前は三治郎。17歳で酒造業や金融業、運送業を営む伊能家の婿養子になり、伊能家十代目当主になった。伊能家は佐原の名家であり、36歳で佐原村本宿の名主となり、39歳には村方後見になり、飢饉の際には、救恤米(きゅうじゅつまい)を出し佐原村から餓死者を出さなかったり、堤防の修築に奔走し治水にも業績をあげ、苗字帯刀を領主から許された。伊能忠敬が、測量の道に進むのは49歳のこと。それまでは家業の繁栄や村の運営に尽力した。第一次測量が終わった後、第二次測量について幕府に願い出た時には、佐原村の農民から忠敬の功績について箱訴(はこそ)が行われた。幕府からは、永代苗字名乗り、一身帶刀を許された。村人からの信頼がうかがわれる。

46歳のときの家訓



第一 仮にも偽をせず孝弟忠信にして正直たるべし  
第二 身の上の人ハ勿論身下の人にもても教訓異見あらハ急度相用堅く守るべし  
第三 篤敬謙讓とて言語進退を寛裕ニ諸事謙り敬ミ少も人と争論まど成すべからず

現代語訳  
第一 嘘偽りを言うな  
第二 良い意見は目下の者でも取り入れろ  
第三 謙讓にして喧嘩するな

このような考えが足掛け17年十次に渡る測量を成し遂げたのでしょうか！



救恤米：被災者や貧困者などを援助するための寄付金。義捐ぎえん金

箱訴：江戸時代、評定所門前の目安箱に訴状を投げ入れて直訴すること。

## 伊能図

伊能忠敬の率いる測量隊によって作成された地図の総称。縮尺、地域、制作時期によって多くの種類がある。完備した製本は文政四年(1821)に幕府に献上された「大日本沿海輿地全図」(だいにほんえんかいよちせんず)であるが明治6年(1873)皇居火災で消失し、

伝存(でんそん)しない。現存する伊能図は製本の控えであった副本、副本を書写した写本、また明治期以降の模写本などである。

### ～測量に向かう前に～

測量で使う地図用紙も手間がかかっている。

1. 特別な和紙に水張りして乾燥させ裏打ち。  
(伸縮による誤差を防ぐ)
2. ニカワとミヨウバンの水溶液「ドウサ」を塗布  
(墨の滲み止め)
3. ヘラで白線を平行に引く

### ～伊能図の作り方 下図～

- 距離→梵天(ぼんてん)・間繩(けんなわ)  
方位→巻簾羅針(わんからしん)で測る。  
測量点を紙に針で穴をあけ、展開していく。  
針穴を線で結ぶと側線となる。

8枚 1:216,000

- 第1図 北海道東  
第2図 北海道西  
第3図 奥羽  
第4図 関東  
第5図 中部  
第6図 中国四国  
第7図 九州北部  
第8図 九州南部



全214図 1:36,000

実測図

中図・小図は大図を元に作られた編集図

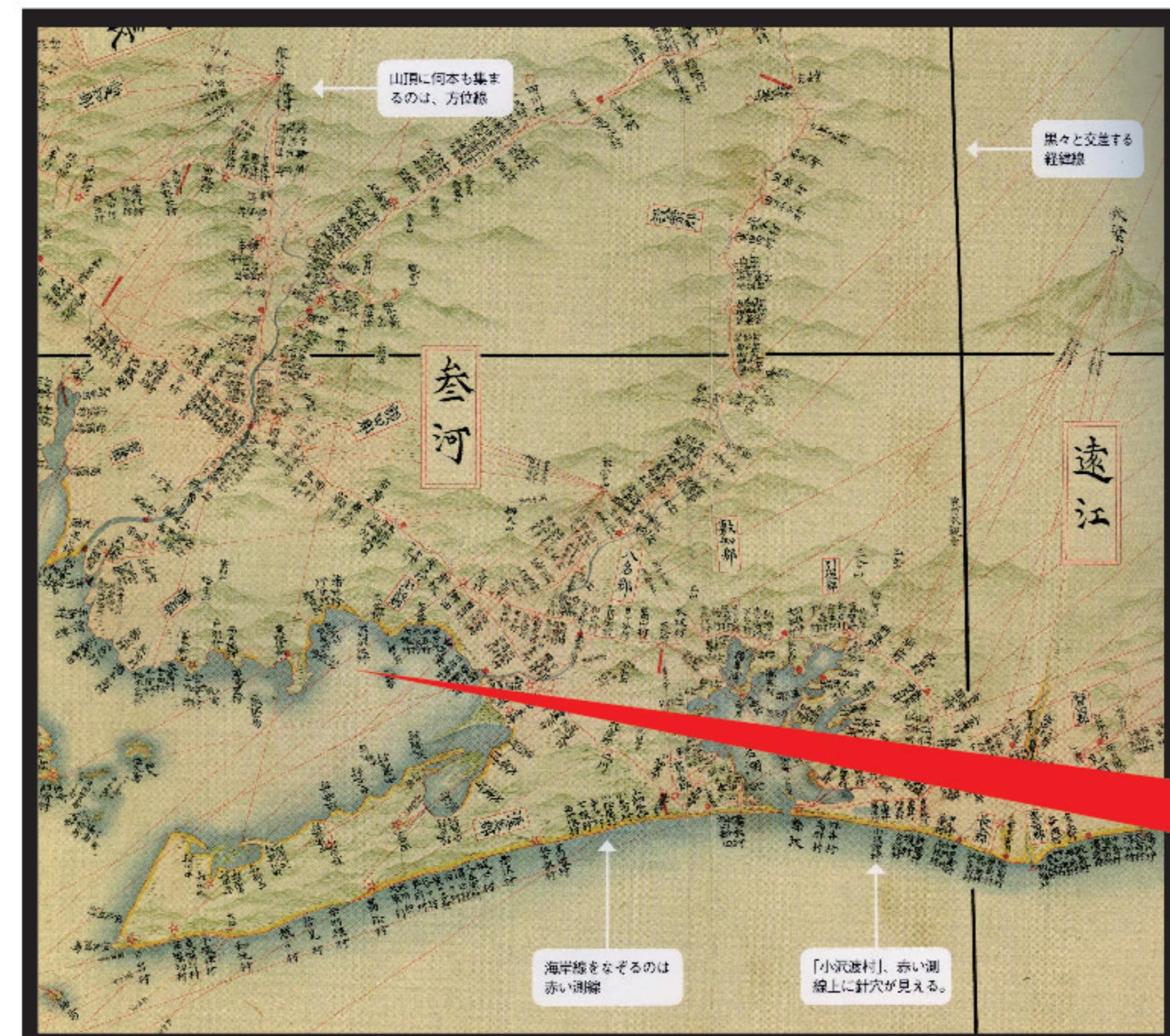
大図

小図 3枚 1:432,000  
日本全体(沖縄諸島を除く)

を3図で構成  
・北海道・本州東北部・本州西南部

## 伊能忠敬と蒲郡測量

▼大塚村・三谷村・不相小江村・蒲形村・竹谷村・拾石村・鹿島村・形原村・西浦村の表記が見られる。



伊能図・大図

今の地名がこの時代から続いていたんですね。  
江戸時代に作られた地図から見つけられるなんて！



伊能忠敬は、足掛け17年、十回の及ぶ全国測量を行っている。その中の愛知県内に足を踏み入れたのは、第4.5.6.7次の四回である。その中の第4次測量にて蒲郡を測量している。

第4次測量 2月25日江戸を出立 品川から東海道を西に向かって測量  
一測量日記より 享和三 沿海日記上 卷六より

享和三年(1803)

三月十四日 吉田船町…乗船…宝飯郡前芝村・青木新田・加藤新田・茅野新田・中村新田・梅敷村・下佐脇村・御馬村・西方村・坪野村・大草村・赤根村・大塚村・三谷村。  
夜曇、不測。

三月十五日 三谷村・不相小江村・蒲形村・竹谷村・拾石村・鹿島村・形ノ原村・西浦村。夜雲、不測。

三月十六日 西浦村・幡豆郡東幡豆村・西幡豆村・西戸城村・鳥羽村・宮崎村。夜雲。曉、天測。



宿泊地の条件  
夜間の天体観測用に十坪ほどの平坦な空地のある屋敷

結構な広さのところです！



三谷村…止宿名主定右衛門邸  
三谷町二舗  
西浦村…止宿医師入戸野貞伯邸

測量地の宿泊先に掲げられた宿泊木札  
「伊能勘解由泊」  
勘解由(かげゆ)隠居後の名前



入戸野(にっとの)貞伯翁 石碑  
蒲郡市西浦町川東18-2

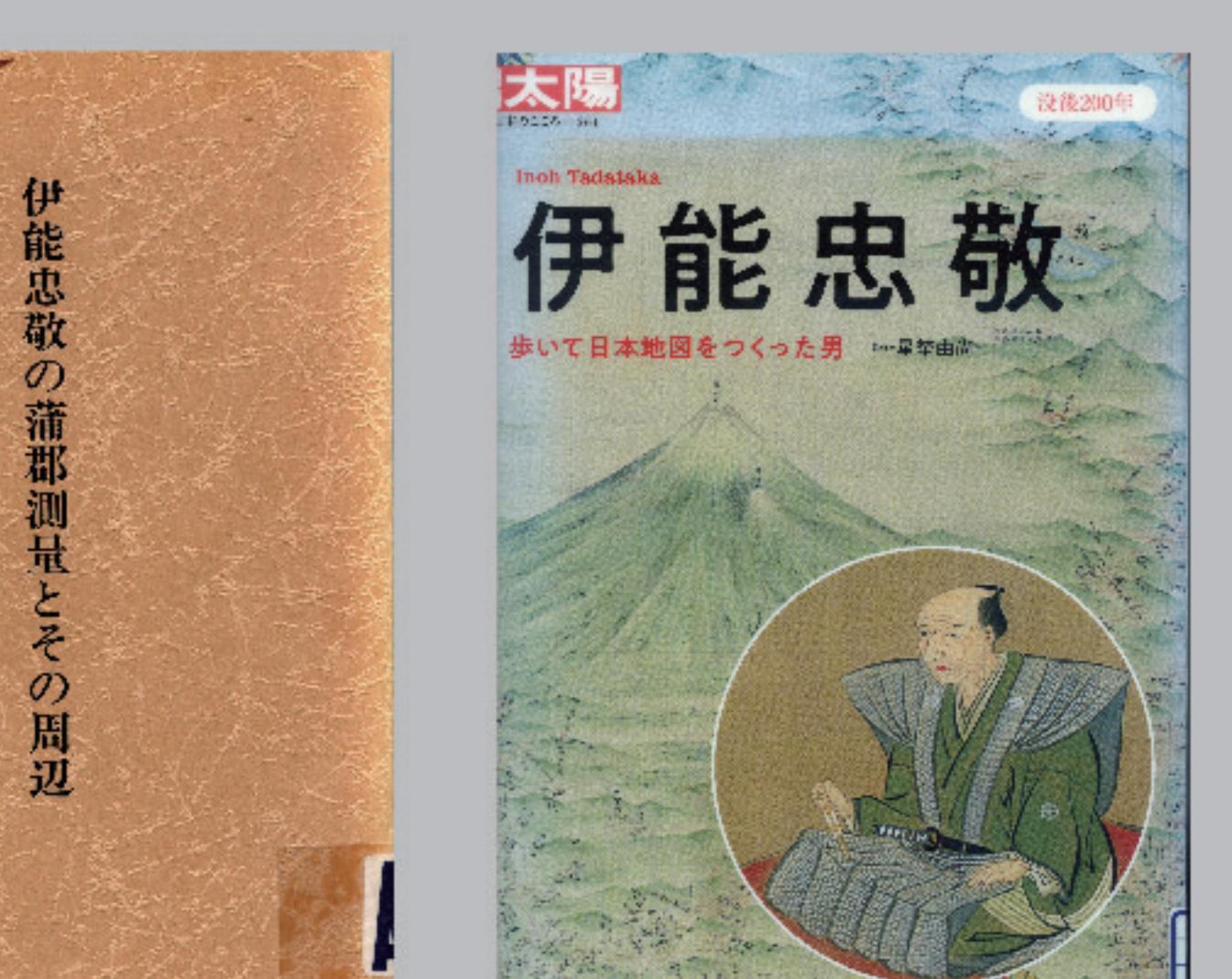
三谷村の止宿  
五代目定右衛門の妻は西浦村の止宿  
入戸野家の縁者



石碑は五十年間に及ぶ偉業を讃え、子の孝心を褒めて文を結んでいます。この貞伯翁は忠敬を治めた貞伯の子である。石碑の中に蒲郡測量に関する記載はないがこの場所が西浦村の止宿ということがわかる。



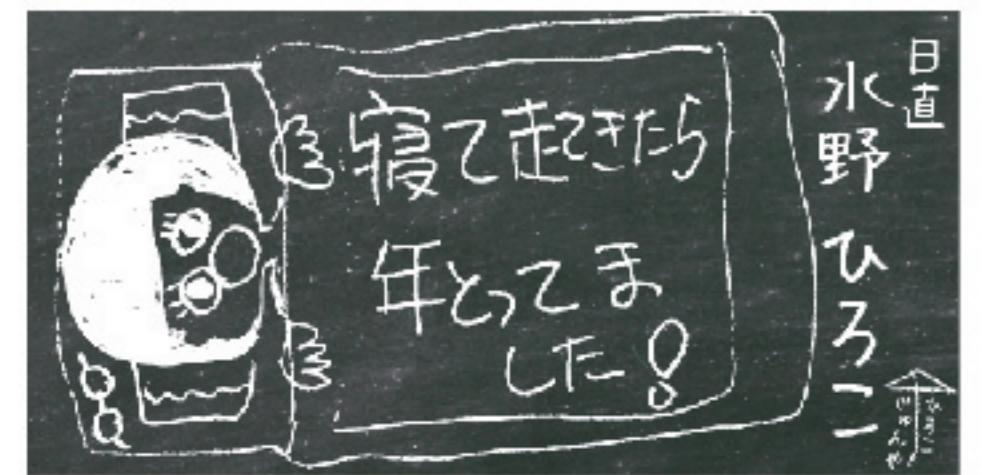
参考にさせていただいた本



伊能忠敬の蒲郡測量とその周辺 著:市川光雄  
別冊 太陽 伊能忠敬 株式会社 平凡社

# ミデコラム

ミデコ社員ひとりひとりが、  
それぞれの個性を活かしたコラムを掲載！



第115回

恥ずかしながら、  
え一年です！

今年は、年女の私です。何回目?って聞かれて「教えなーい」なんて可愛いことは言えない年です。小さい頃、「何歳生まれ?」と聞かれて「ライオン」と答えていた私。マジにライオンの雌がトラだと思っていたんですね。その時からおバカでした。

話は変わりますが、令和3年12月、尿管結石になりました。夜中の2時にお腹に違和感。トイレに行ったがお腹を壊した感じでもない。寝れずベッドに横たわり、4時まで我慢。まああの激痛になると共に痛みのせいで嘔吐する。そして2時間。何とか朝まで我慢しようとしたが6時に我慢しきれなくなり家族を起こし、車で市民病院へ。痛み止めの座薬と点滴で何とか落ち着き、CTを撮り、尿管結石という診断に至った。座薬を処方してもらい、次回1ヶ月後に石が流れたかもう一度CTなど検査をするために予約をいたれた。

予約日が近くなり、調子も良くなったので「行くのやめちゃうかな」という悪い考えが。しかし、直前になって2、3日体の調子が悪くなり、予約したとおり病院に向かった。

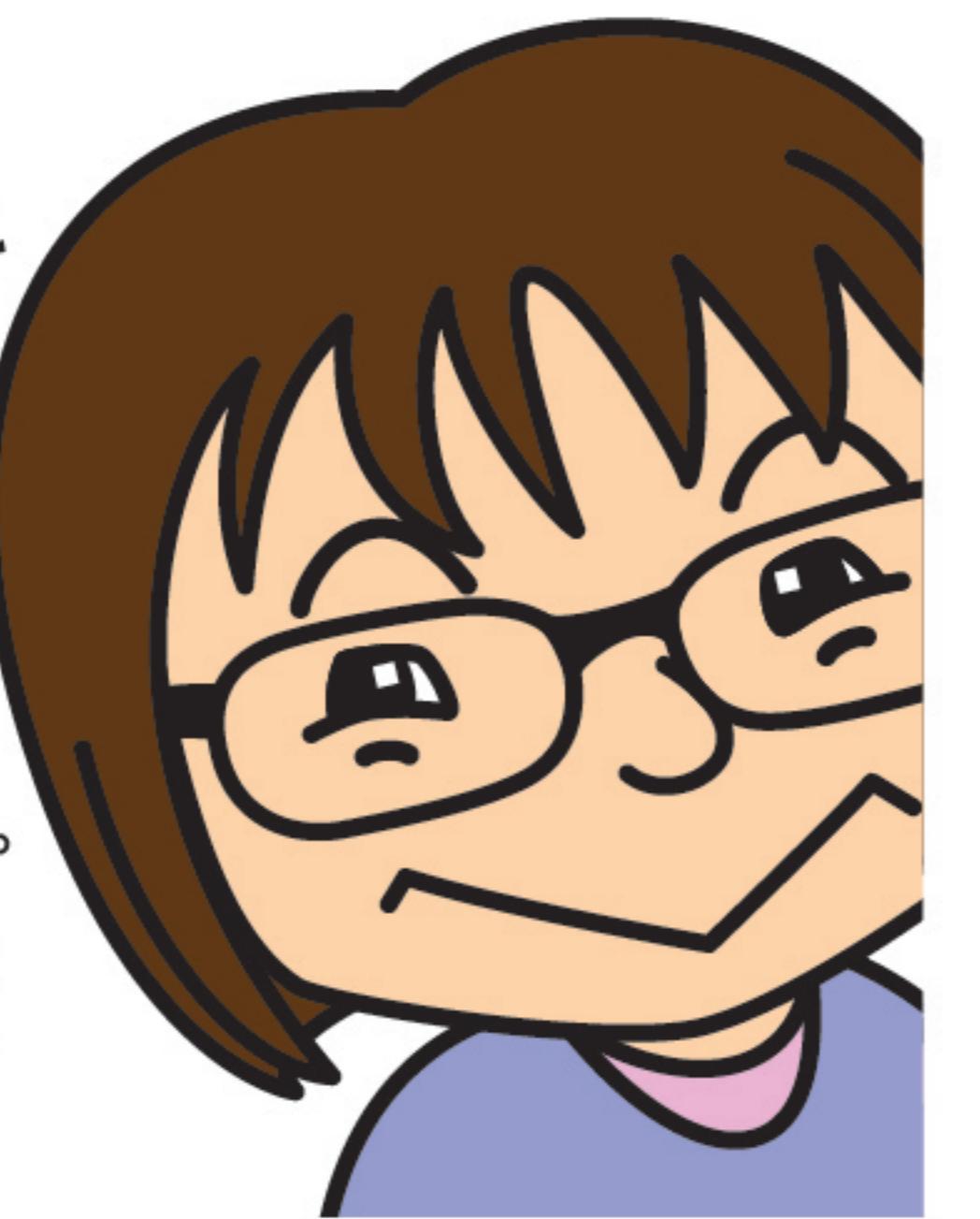
CTを撮り、採尿し、石も無くなつたことがわかった。

そして、診察代を払う。4000円超！結果、なんともなかつたといいい結果

今月のにわか編集長  
水野浩子

にわか編集長とは!?

ishin-denshin の編集長は持ち回り制。  
特集ページの執筆や、みんなのコラム  
にコメントをつけたり小コーナーの原  
稿をまとめるのが主な仕事です。



なんですが。

家に帰って「4000円も取られちゃつた」と吐露。いかんいかん、取られちゃつたじゃない、診察の対価として支払ったのだ。

あーあ、12年×〇年生きたのに。お恥ずかしいかぎりです。

## にわか編集長コメント

運転しておまわりさんに声かけられて、違反金を払う。これもとられちゃつたと言っちゃうんですよね。納めたのに。

**KEN BUN ROCK**

第116回

## 理想の車

去年キャラの強い車に乗り換えてから車に対しての考え方が変わってきたように感じます。今の車がかなり趣味に振ったスタイル。



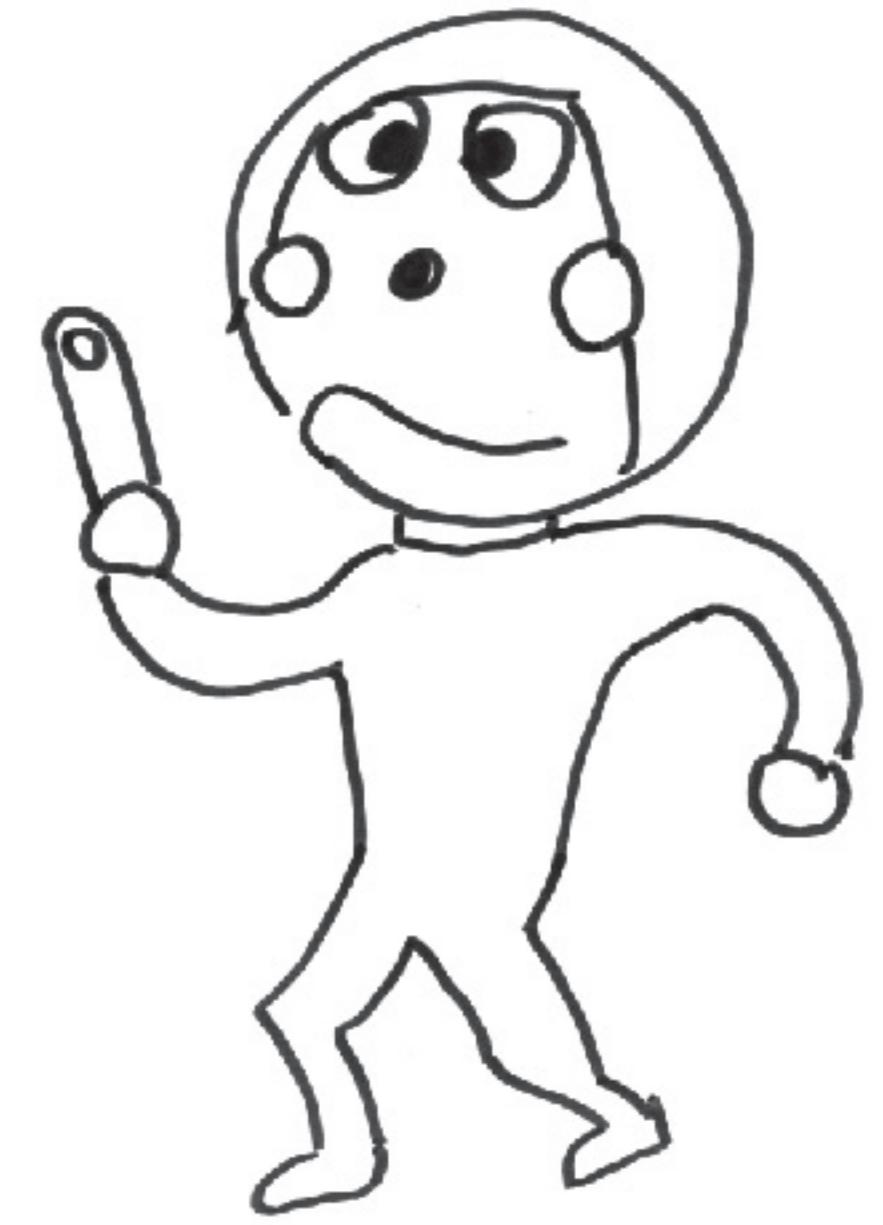
# きおく画伯

第67回

お題 うまえもん(うまい棒キャラクター) 描いた人 山本さん



誰の目にもドラ○もんにしか見えない国民的駄菓子キャラ、うまえもん。今年4月から値上げだそうですね。今駆け込めば2円もおトク!!



第115回

サクラサケ！

次男の合格祈願のため、岩津天神へ。オミクロンがコワイので、お正月の雰囲気もすっかり消えた土曜の朝17:00に家を出る。

どこから入ればいいのか多少ウロウロするものの、順調に車は走り、予定よりも大分早く到着。警備の方は談笑しながら定位置までぞろぞろ歩き、屋台はどこも準備を始めたばかり。流石に早すぎだろ…とは思う前田家。慎重派だが、要領が悪いタイプ。わかってる。

閑散とした境内。ご時世で仕方のないことなのだろうが、撫で牛はおさわり禁止。どこまでもテレビで見てたのと違いすぎ。仕方なく、合格祈願守りを買い、おみくじを引く。ここで、もてる次男、一家4人中3人が大吉を引く中、まさかの小吉…

「いや、書いてある中身よ中身！」  
と促すも

「二度三度の失敗も気にしないメンタルが大事」とのお告げ。

「…」(一同無言)

「失敗ってなんだよw」

いたたまれず、『メンタルが大事、だけ受け入れた次男はため息について、絵馬を奉納。ペンを持つ背中がくらい…』

単純にニヤつくナチュラルボーンいじめっこの大、『失敗はお母さんが引き受けれるから!、と意味不明なフォローがまたイタい母(私)…の中で真剣に次男を心配して

ため、ハードな乗り心地となっています。

また、車体が1t程度で非常に軽いです。車にとっては軽い方が燃費などメリットが多いのですが、乗り心地の面からみればマイナスです。

要するに、今乗っているロードスターは、乗り心地や快適性よりは運転操作を楽しむことに特化した車です。(今更何を)故に、ドライバーに求められることが多く、長距離運転はなかなかハード、マニュアル車であればかなり疲れると思います。短距離なら至高の乗り物になります。

以前、父親から譲り受けたバブルの頃のプレミアムセダンに乗っていた頃は行動範囲が広く、東京、九州までと遠距離を平気で走っていました。若さゆえというのもありますが、乗り心地がよく長時間運転しても疲れにくく、余裕で遠くまで行けるのです。今の車は長距離を走る気がしません。

どの車に乗るかは、車とどういう付き合い方をするかで考えた方がいいですね。週末に近距離でワインディングを楽しむならスポーツカーでもいいでしょうし、スポーツカーのようなスタイルで快適に日常的に走るのであれば、セダン寄りなクーペ(GT)に乗ればいいでしょうし、人を乗せることができればセダンやミニバンが良いし、まあ何を求めるかで当然分かれてくる話ですね。当たり前っちゃ当たり前。

自分の場合、独身、車は一人乗りメイン、多少の荷物の運搬ができ、ロングドライブをゆったり楽しめるもの。と考えれば2、3ドアのクーペかハッチバックが良さそうなもので、ロードスターのチョイスはある意味でミスマッチ。ですが、車というものの面白さは理性と感性が協調することもある反対意見となることもあります。今回のチョイスは感性、タイミングと思い切りで実現したものでした。というか過去の車みて

きても意外な車種ばかり。なぜそれを選んだと自分自身に突っ込みたくなるようなチョイス。実の所、シルバー、グレーの地味系カラーの車幅1800mm程度のコンパクト寄りな中堅セダンが理想と思いつつも、心を動かすのはそうでない車ばかり。理想的車選びは奥が深く、難しいものです。

新型フェアレディZがいよいよ発売されますが、実は浮気心がおきてしまっています。写真でみるとドーコ君のような少し抜けたフェイスが好きになれなかったのですが、グレーのZを動画で見た時はそのかっこよさに脱帽です。元々日産党でしたし、ZはS30、Z32が好きで、今回のビッグマイナーチェンジではこの両方の要素が色濃く反映されているように感じます。歴代のZの要素が入っているそうですが、自分の所感としてはこの2代がよく現れているように感じます。異常に高騰しているS30ですが、一時期は2by2がお値打ちでした。今ではこれも高騰してしまい、S30を手に入れるのが難しい時代になり、旧車の維持も一般人には厳しい?と思われる所以、旧車のエッセンスを新型車で感じ取れる新型Zに釘づけです。が、やはりロードスターから乗り換えなんてしませんよ!

理想の車探しは理性と感性の折衷をつけるところなのでしょうが、新型Zは理性ではNG、感性ではGOODな感じ。矛盾を抱えた車探しは奥が深く、答えがありませんね。オチありません。駄文失礼しました。写真引用元  
<https://clicccar.com/2022/01/14/152093/>

## にわか編集長コメント

全く車に興味なしの私。車好きの会話を横で聞いていると、なんでそんなに覚えられるの~?なのです



た男がひとり。

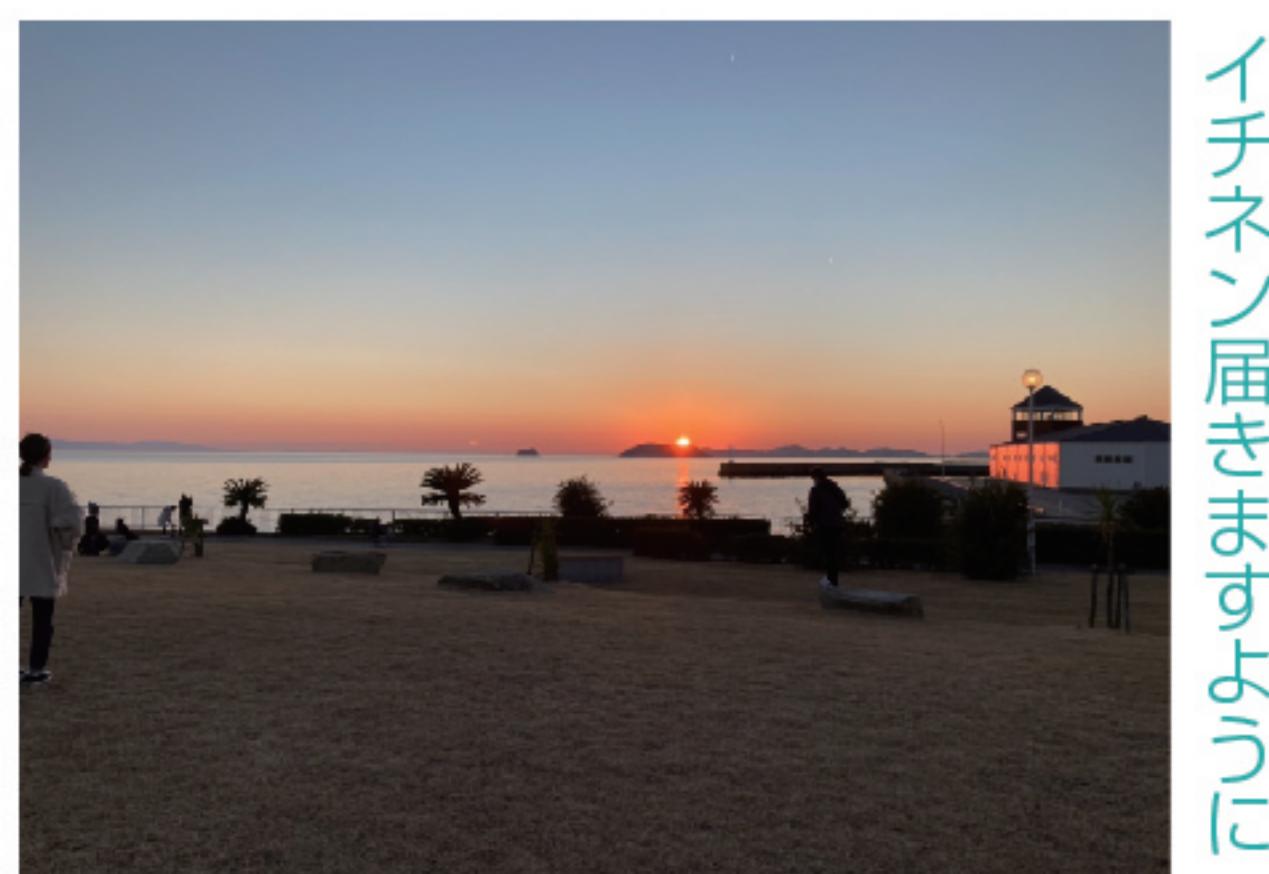
数日後名古屋に帰った長男から一枚の写真とともに

「山田天満宮行って来る」

のメッセージを受信。どうやらスピリチュアル大好き長男の開運めぐりデート。本命は「銭洗神社」だったのだが、ラブリー次男のために合格祈願も急遽追加。ういやつめ。

来月早々、私立受験。そして3月には本命を含む公立受験が迫っている。はてさて、兄の愛情と次男の努力は実を結ぶのか!?

今年の春は待ち遠しい!



▲ウオーキング中に一枚。  
そして思わず合掌しますよ。

#### にわか編集長コメント

西浦の龍田天神社も牛が寝そべっていますよ。もっぱら最近は、自分の調子の悪い左足を良くなるようにと撫でています。近いし、撫で放題ですのでいかがです?

第116回

## 気は優しくて力持ち

「ドカベン」や「あぶさん」「野球狂の詩」をはじめ、数多くの野球漫画を世に送り出した水島新司先生が肺炎のため82歳で亡くなった。物心ついた頃、初めて小遣いで買った単行本が「ドカベン」だったことで、水島漫画といえばやはり「ドカベン」の印象が強い。連載開始当初は柔道漫画だったことをご存知だろうか。この柔道編は子供心的には退屈だったようで1年ほど続いた話の中身はほとんど覚えていない。当時、水島先生はライバル誌だった週刊少年サンダーに「男どアホ甲子園」を連載していたことから同じ野球漫画かぶりを避けた大人の事情があったことが柔道編の理由らしい。そしてこの「ドカベン」の主人公、山田太郎が神奈川県の明訓高校に進学するところから物語は大きく動き出すことになる。

野球漫画の花形はなんといってもピッチャーだと思うが、この山田太郎のポジションはキャッチャーというところが目新しい。しかも強肩、強打。ここぞというときに必ず決めてくれる頼れる4番打者。高校時代に5回甲子園に出場し、その通算打率は驚異の7割5分を誇る。唯一の欠点は鈍足というところだが、ドラフト会議では12球団中10球団から1位指名を受けるという大谷君もピックリのとんでもない凄い選手なのだ。そしてこの山田とともに忘れてはならないのが、悪球打ちのハッパことサード岩鬼正美、音楽センス抜群の秘打男・セカンド殿馬一人、そして小さな巨人ことアンダースローのエース・里中智の明訓四天王の活躍を軸に、打倒明

訓・打倒山田に燃える県内、全国の個性豊かで魅力的な強力なライバル達との数々の死闘が読者を熱狂させてきたことは言うまでもなかろう。さらにその奇抜なストーリーはもちろん、水島先生の描いた絵に引き込まれる部分も大きい。投げる、打つ、走るといった野球に必要な基本的なフォームの正確さ、美しさ、躍動感が抜きん出ている。クライマックスで時折披露する見開きでの山田太郎の迫力あるバッティングフォームはまさに打のお手本ともいえる見事なまでの素晴らしいスイング。悪球打ちや秘打も頻繁に出てくるが、いわゆる魔球的な現実味の無い必殺技は出てこないのも水島漫画の特徴。配球の妙や心理戦での駆け引きを数ページに渡ってじっくりと描くシーンはとにかく新鮮で、次のページをめくるのが楽しみだった。



数々の名勝負はあげればキリがないが、いまだに印象に残っているのは山田が高校1年生の夏、いわき東高との初の甲子園決勝での一戦。大人買いなど出来る余裕もなく、たまたま手にしたこの対決の単行本を繰り返し読んでいたのでよく覚えている。明訓に立ちはだかるのは超高校級のフォークボールを投じるいわき東の緒方。そしてファミスタのビノばりに足が異常に速い足利。このフォークをいかに打つか、そしてこの足利の足をいかに封じるか。この駆け引きが1回から9回まで延々と続く。見応え、読み応えタップリの

紙一重の攻防には今思い出しても胸が熱くなるばかりだ。悪球打ち得意とする岩鬼にとって、ワンバウンドするような落差の大きいフォークボールはまさに絶好球。豪快なプレイボールホームランをかっ飛ばすものの、まさかの3塁ベース踏み忘れて幻のホームランになるという、初回からとんでもない形で始まった試合。信じられないスピードスターの足利を三度、塁に出すものの鉄壁の守備で得点を防ぐ明訓。しかしついに8回裏、足利が内野安打の間にホームを陥れて1点をもぎ取る。あと1点を守り切ればいわき東優勝となる9回表、明訓の攻撃は太陽の光が目に入って何も見えなくなった岩鬼にとって、ど真ん中のストレートが悪球となり逆転2ランホームランにつながる奇跡が起こる。そして運命の9回裏、いわき東最後の攻撃は1死3塁と同点のチャンスで次打者の3塁側のスタンドに入ろうかというファウルフライをフェンスによじ登って岩鬼がなんとキャッチしてしまう。無茶な体勢でフライを捕った岩鬼を見て3塁ランナーの緒方はタッチアップでホームへ突入。驚いた岩鬼の決死の返球はホームベース手前でワンバウンドしそうな捕りづらい返球となるが、山田は一か八かの覚悟で前へ出て見事捕球し、緒方をタッチアウト。甲子園で初優勝を飾るのだ。こんな見所のある試合が毎回楽しめる「ドカベン」。水島新司先生のご冥福を心からお祈りすると共に、今、改めて不朽の名作をじっくり読み返してみたい。

#### にわか編集長コメント

ドカベン、漫画は読んでいませんがアニメは、毎週欠かさず観てました。私のお気入りは「秘打、白鳥の湖です！」



今回がまたじなるグルメでお世話になったままやさんへ。看板メニューの八丁味噌菜めし田楽御膳を注文。菜めしとお味

噌汁、小鉢や漬物とみかんが所狭しと並び、主役の田楽は重箱に入ってるほどタップリとかかり、辛子が淡白な豆腐の味を一層引き立てます。味噌と辛子のコラボレーションはまさに最高。相性抜群の塩味がほんのり効いた菜めしはんがあつという間



第116回

## 脳の快感

～未来を創る若者たちへ～ 孫正義、  
中山伸弥、五神真、羽生善治の4氏対談

たまたまYouTubeにて表題の対談を拝見する機会があった。約2時間の長い動画ではあったが結局最後まで観てしまった。対談のテーマの一つに“脳の快感”という下りがあって感銘を受けたので少し備忘録的に残したいと思った。

脳が快感を感じることの最小限は、欲しいものを買った、観たかったテレビ番組を観たとか、行きたい場所へ行ったこと的なレベルで、その次が(個人的に)今までできなかった努力が実った的なことである。そのレベルでは世間には何の影響も及ぼさないし、そこまでの自己満足までの人々が大半だという。これから更にその快感を増幅するのが、他人からの共感を得たという事実。最小限は親や家族に褒めてもらったことから始まり、それが友達や友達ではない知人にまで喜んでくれる。そうすると更に脳は快感を求めてレベルが上がっていくという。ここでいうレベルとは脳のレベルと行動のレベルだと解釈した。孫さんは、さらにビジネスや研究の世界では、会社全体、お客様、そして世界中の人々が喜んでくれる事実に対して更に脳はレベルを上げ、究極はこれから30年先、50年先、100年先までもこの“喜んでもらえる”ということに応えるために脳のレベルを上げることだと言った。それに応えて、東大の総長

の五木さんのキーワードは“他者との共感”“共感力”だと。自分の思った結果ではなくとも他者を褒め、喜びあえる仲間の存在が脳のレベルアップと世の中への役立ちになるのだと山中教授は言った。



普段の仕事でも、スタッフの努力とその結果、お客様に喜んでいただけること。それが快感となりさらに次へと繋がっていることを改めて感じた。

#### にわか編集長コメント

私の快感！「コレいくらだと思う？」に自分の購入代金より高く答えてもらったときかな。逆の場合は、めっちゃ腹たつです。小さい人間です。



に消えています。そうそう、田楽の下に滴り落ちた甘辛味噌を菜めしご飯につけて食べることをスッカリ忘れてました（笑）次回は絶対リベンジしなきゃ！（大河内）

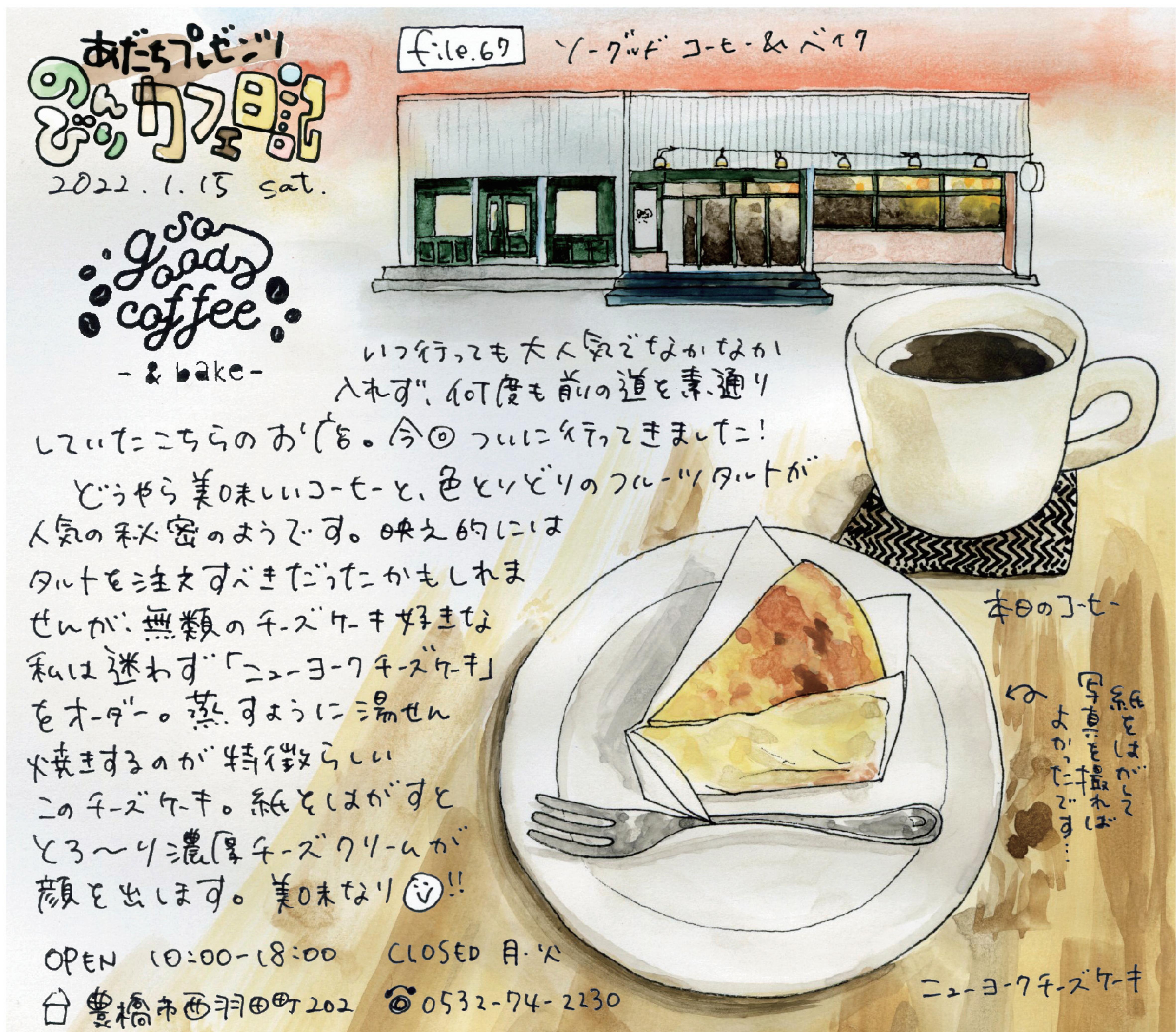
**レッツ  
コミュニケーション！**

今月のお題  
**Youtube の活用法  
教えてください**



今回がまたじなるグルメでお世話になったままやさんへ。看板メニューの八丁味噌菜めし田楽御膳を注文。菜めしとお味

噌汁、小鉢や漬物とみかんが所狭しと並び、主役の田楽は重箱に入ってるほどタップリとかかり、辛子が淡白な豆腐の味を一層引き立てます。味噌と辛子のコラボレーションはまさに最高。相性抜群の塩味がほんのり効いた菜めしはんがあつという間



にわか編集長  
コメント

ほぼ毎週、豊橋に行く私。しかし西羽田はテリトリー外なんですね。機会があれば、紙をはがして目に焼き付けて行きたいです！



今月の  
にわか編集長  
編集後記も持ち回り制！

節分、今年の恵方は北北西とのこと。恵方巻きが出始めの時は、笑いをこらえながらまるかぶりしたものですが、今や食べにくいので包丁で切って食べちゃいます。福が逃げちゃうかな？

水野浩子